

【学校教育目標】「感謝の心を持ち、自ら学び、たくましく生きる子供の育成」



学校だより 堂崎つ子

第 10 号

令和 6 年 7 月 19 日

南島原市立堂崎小学校

校 長 末吉 優

一学期終業式 校長の言葉（抜粋）

一学期の始業式で、「自分の夢や希望をかなえるために、自分から進んで学習する、生活を自分たちの力でつくってほしい。」とお願いした。

まず、はじめに「あいさつ」について。皆さんは、朝、何と言って家を出ますか？（「行ってきます。」）、家に帰るときはどうでしょうか？（「ただいま」）。そうですね。では、朝出かけるときは「行ってらっしゃい」が先ですか？「行ってきます」が先ですか？ 家に帰ってくるときは、「お帰りなさい」が先ですか？「ただいま」が先ですか？

ど〜うも、自分から言うことに、挨拶の良さがある。登下校を含めた 朝の「おはようございます」、昼間の「こんにちは」など、自分から進んでする挨拶はどうだったか。……自分から進んで行う元気な挨拶を、登下校中にも皆さんから堂崎全体に広げてほしい。地域に元気を届けてほしい。

次に、「勉強」について。先生から教えてもらったことがよく分かり、自分の力となったか。

実は、大切なことが、二つある。一つ目、「あいさつ」、「ありがとう」などの礼儀、「あとしまつ」、だらだらと過ごさない時間の使い方、掃除や手伝いなど、私たちの生活を支える生活習慣がしっかりできていれば、勉強もよく分かるようになるという。通知表の「生活の様子」をよく見てほしい。勉強と生活習慣は大きな関係がある。

二つ目、宿題について、先生方からも、児童の皆さんがよく頑張っていると聞いている。自分の家で、宿題や自分で決めた勉強をいかにするかが大切。 この一学期、頑張ったことを通知表などで確かめてほしい。一学期に頑張ったことを夏休みの生活につなげてほしい。

夏休みは、学校生活と違って、毎日の生活を自分の力でつくっていかなければならない。どのような夏休みをつくろうか、とワクワクしていると思う。普段できないことにチャレンジしてほしい。

皆さんが素敵な夏休みをつくれるよう二つお願いをする。一つ目は、健康や安全に気を付けてほしい。（熱中症に気を付ける。冷房を使いすぎると体調を崩すこともある。様々な感染症にも気を付けてほしい。）

もう一つは、事故に遭わないように気を付けてほしい。（気が緩みにより、危ないところへ行ったり、危ない遊びをしたりして事件や交通事故、水の事故に巻き込まれないようにしてほしい。）「命」を大切にすること。自分でしっかり気を付けて楽しい夏休みになるようにしてほしい。二学期始業式で元気な皆さんに会うのを楽しみにしている。

< 芋畑の草取り:たてわり班 >



< 5年生学級部会 >



< 6年生研究授業: 算数科 >



たてわり班による折り鶴作り

高学年が低学年に折り方を教えました。高学年にとっては、1・2年生の頃、教えてもらったことを忘れず、優しい言葉で丁寧に接していました。堂崎小学校のよき伝統の一つです。平和集会で「平和の願いを込めた千羽鶴」として紹介されます。



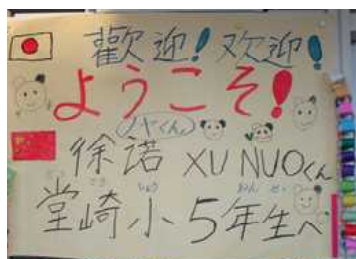
2週間だけの新しい仲間（体験入学）5年生 【7月8日（月）～7月19日（金）】

中国杭州市から、夏休みを利用して体験入学にきました 徐 諾（XU NUO）【通称：ノヤくん】です。

日本の文化や生活習慣について学びたいと体験入学を試みたそうです。5年生のみならず、学校全体で、貴重な国際交流の場となりました。7月10日（水）12日（金）は、お昼の校内放送にも出演し、「ノヤくんの『中国語講座』」と題して、中国語によるコミュニケーションを楽しみました。放送委員会（堂崎放送局DBC）の進行も素晴らしいものでした。

日本の学校でしかできない体験（給食当番、係活動、掃除、集団登校など）は、日本の学校独特のもののようにです。徒歩での登下校の姿や放課後の友達付き合いも新鮮な体験でした。うまく給食準備ができたこと、自分の特徴をつかみ、絵を描いたことなどをお聞きました。

夏休み前の2週間、多くの不安はあったことと思いますが、子供たち同士、コミュニケーションを交わしながら思い出に残る体験入学となったことでしょう。



<歓迎メッセージ>



<自己紹介後の様子>



<給食準備>



<日本語の勉強>

強い「根っこ」を育てる（厳しさと 十分な愛情 → 自ら考え、判断、行動する力へ）

夏の交通安全週間【13日（土）～19日（金）】の期間中、校外生活指導部及び各自治会の皆様には、子供たちの見守り活動、ありがとうございました。併せて、登校の際の挨拶についても指導をいただいたことと思います。

さて、夏休みを迎えるにあたって、毎年学校から「夏休みの生活のきまり」をお示ししております。しかしながら、職員の目は子供たちには届きません。各家庭で、お子様の健康と安全に気を付けて夏休みを過ごそう願います。「乳児は肌を離すな 幼児は肌を離して手を離すな 少年は手を離して目を離すな 青年は目を離して心を離すな」ということが言われます。

子供の成長に合わせて、親と子の距離感が大事だと考えます。乳児・幼児の母親の懷から、少年となり、母の手から徐々に離れていき、親にとっても心配と同時に、「信じること」、「手放すこと」も必要になってきます。

夏休みこそ、家庭における「仕事」を持たせ、苦勞を知る、やり遂げるなどの「忍耐力・辛抱強さ」を育てていただきたい考えます。子供たち一人一人の成長は様々ですから、一概に当てはまることはないかとも思いますが、夏休みのお子様の生活が充実するよう御配慮をよろしくお願いします。

今年の夏は、パリオリンピックが開催されます。日本の代表選手の活躍が期待されます。世界のトップアスリートのパフォーマンスを見たいものです。保護者の皆様、児童共々、健康で有意義な夏休みをお過ごしください。